



野間小だより

NO. 8

令和元年11月28日

真実を知りたいと強く思うとき

校長 中川 善行

「野間っ子発表会」では、多くの方々から子どもたちに熱い声援と拍手をいただき、誠にありがとうございました。また、青少年を育てる会主催の「史跡めぐりハイキング」にも多数のご参加をいただきましたこと、重ねて感謝申し上げます。

さて、私は最近、ある本を読んだことで、深く考えさせられたことがありました。その本の題名は、桑原嶽著「乃木希典と日露戦争の真実～司馬遼太郎の誤りを正す～」です。

私は、中学の頃から司馬遼太郎の歴史小説の大ファンです。特に、日露戦争を小説の舞台とした「坂の上の雲」は大好きな作品で、NHKでドラマ化されたこともあり、全八巻という大作であるにも関わらず繰り返し読みました。この小説の主人公、秋山兄弟や正岡子規のふるさとである愛媛県松山市を訪ねたり、今も保存されている戦艦三笠（日露戦争の日本海海戦で東郷平八郎が乗りこんでいた旗艦）の実物を見たいがために、神奈川県横須賀市まで出かけたりもしました。この小説の中で、乃木は「弾丸がなくても精神力で勝つ」式の日本版精神主義の象徴であり、ロシア軍が守る鉄壁の旅順要塞に対し無謀な正面突破を無意味に繰り返し、いたずらに多数の戦死者を出した”愚将”であるかのように描かれています。当然私も、乃木希典という人物に対し、同様のイメージを抱いていました。

ところが、「乃木希典と日露戦争の真実」では、こうした乃木像は完全な誤りであり、司馬の小説的な味付けによって、事実がねじ曲げられていると指摘していました。陸軍士官学校出身で軍事の専門家である著者が、具体的な資料と綿密な分析に基づいて、乃木の“名将”ぶりを語っているのです。私は、それまでにもっていた知識がガラガラと音を立てて崩れていくような感覚を覚えました。と同時に、果たしてどちらが真実なのか、乃木希典という人物について、もう一度深く探してみたいという思いに強くとらわれました。

こうした「真実を知りたい」という思いに至るプロセスは、小学生の子どもたちであっても共通する部分があるのではないのでしょうか。「①正しいと思い込んでいたことが覆される→②何が真実か、探してみたくなる→③自ら進んで調べたり、学んだりし始める」というプロセスです。ノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑博士も、「教科書に書いてあることでもまずは疑ってみる。それが大切だ。」と語っています。私たち教師は、普段から、子どもたちのもつ「常識」を覆すような仕掛けをすることで、子どもたちの知識欲を駆り立てる。そんな授業を心がけたいものだ、改めて思いました。

2学期も残すところあとわずかになりました。学校は今、恒例の「漢字・計算テスト」期間に入り、学習のまとめの時期になっています。子どもたちが少しでも意欲的に取り組めるよう、ご家庭でも励ましの言葉がけをよろしくお願いします。



3日(火) スクールセンター(午後)

4日(水) お話会

5日(木) 児童集会 委員会

9日(月) 朝会(人権講話) 集金日 一斉下校

10日(火) スクールセンター(午前)

個人懇談会 午前中授業

11日(水) 個人懇談会 午前中授業

12日(木) 児童集会(カルタ会準備)

個人懇談会 午前中授業

19日(木) 児童集会(カルタ会作成)

クラブ

20日(金) 給食最終 通学団会 14:40下校

23日(月) 終業式 大掃除 11:20下校

1月行事予定

7日(火) 始業式

8日(水) 給食開始 地震避難訓練週間

9日(木) 委員会

10日(金) PTA委員会

14日(火) 16日(木) 書き初め

17日(金) 月曜日日程

19日(日) 美浜タウンマラソン

20日(月) 学校公開週間 書き初め展～24日

23日(木) クラブ

30日(木) 児童会役員選挙

☆「野間っ子発表会」

11月9日(土)に「野間っ子発表会」が行われました。当日は、みんながこれまでの練習の成果を発揮して一生懸命な姿で発表することができました。

参観していただいた保護者の皆様や地域の方々からは、「すばらしかった」「とてもよかった」といったお褒めの言葉をいただきました。子どもたちは大変喜んでおりました。また、保護者の皆様には、衣装や小道具などでもたくさんの協力をいただき大変ありがとうございました。



1年「11ぴきのねことへんなねこ」



3年「まぬけな山賊たち」



5年「三つの世界の子どもたち」



2年「三びきのやぎのがらがらどん」



4年「エルマーの冒険」



6年「義朝さまとぼく」



☆学校保健委員会

11月20日(水)に、「バナナうんちを出すごはん」をテーマに学校保健委員会を行いました。保健委員の児童による野間っ子の実態発表の後、栄養教諭の谷口郷子先生や渡辺病院副院長、後藤昌敏先生の講話を聞きました。今回の学習を機会に、それぞれの児童が少しでも意識して、より規則正しい生活へと向かうことを願っています。

